

製造業、非製造業とも売上高は改善するも、収益状況は伸び悩む

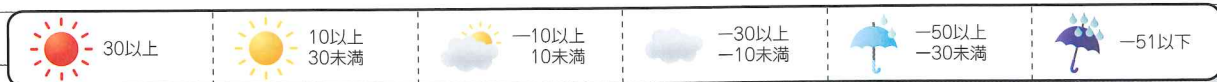
5月の情報連絡員報告によると、売上高DI値は製造業、非製造業とも大きく改善しており、製造業についてはプラス10ポイント台まで上昇した。しかし売上高DIは増加したものの収益状況DI、業界の景況DIとも、前月に比べて悪化した。これは震災が発生した昨年と比較すれば売上は増加しているものの、収益を確保できる水準には依然として達していない実態を現している。

【製造業62人、非製造業、88人、計150人の集計】

前年同月比のDI値

項目	全産業		製造業		非製造業	
	前年同月比		前年同月比		前年同月比	
売上高	 -2.0	 11.3	 -11.4			
在庫数量	 -5.5	 3.2	 -14.1			
販売価格	 -17.3	 -11.3	 -21.5			
取引条件	 -10.0	 -9.7	 -10.2			
収益状況	 -26.7	 -16.2	 -34.1			
資金繰り	 -19.3	 -19.4	 -19.3			
設備操業度	 -6.5	 -6.5	—			
雇用人員	 -10.7	 -11.2	 -10.2			
業界の景況	 -35.4	 -25.8	 -42.1			

※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標です。(−100≤DI値≤100)
 DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合−減少・悪化と答えた企業の割合
 【例:調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4−10)/20×100=−30】



平成24年
5月

業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	製 粉 業	小麦の製粉時に副産物として生産される「ふすま」の価格が低迷している。小麦の価格改定によって増収となったにもかかわらず、結果的に減益となった組合員が多く見られる。
繊維・同製品	ネクタイ製造業	スーパークールビズの影響により、5月の売上は大幅に減少した。
	帽子製造業	今年はゴールデンウィークと母の日が重ならず相乗効果を発揮できなかったため、盛り上がりには欠けた。ただし、震災の影響を受けた前年同月と比較すれば、売上はかなり増加している。また、廉価品の動きが鈍い一方で、高額商品に動きが出て来ている。
	帆布製品製造業	ここ数年、5月の売上は不調である。来月に期待したい。
	ニット製品製造業	景気が回復しつつあるといわれているが、未だ受注量は本格的に回復していない。
	織物製造業	売上は大幅に落ちこんだ。
木材・木製品	建具製造業	新築住宅市場は相変わらず低調で、依然として売上は厳しい。縮小する市場の中で価格競争の激化が進んでいる。
	木材製造業	家具製造業や建材業界が減産傾向にあるため、今後も厳しい状態が続くと思われる。
印 刷	印刷加工業	組合員全体の売上は確実に減少している。
	印刷業	業績の悪化とともに、組合員の減少が続いている。
化学ゴム	ゴム製品製造業	前年と比較すれば売上は増加しているが、一昨年と比較するとかなりの落ち込みとなっている。また、東京電力の電力料金値上げに対応できていない。
	プラスチック製品製造業	廉価な海外製品に比べ納期の早さで対抗できた一部の製品を除き、受注実績は低調であった。
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	公共事業の発注量に動きが出て来つつある。前年比の売上は増加に転じた。
		本年度の努力目標は販売価格の引き上げとなっている。
鉄鋼・金属	金属熱処理業	円高によるユーザーの海外進出に伴う影響が大きくなっている。また、中国の経済成長の鈍化の影響が現れている一方で、エコカー減税の効果により自動車関連の売上が好調となるなど、景況は一長一短の様相を呈している。
	ダイカスト製品製造業	自動車関連は順調に推移しているが、一般機械・電気機器関連に陰りが見られる。
	缶製造業	景況の回復は滞っている。
	鋳物製造業	4月以降、需要の低迷が続いている。また、5月は稼働日数が少なく売上はさらに減少した。
	建築金物製造業	売上等に動きが出ているが、継続するか否かは不透明である。
	金庫製造業	組合員が1名新規加入した。
一般機械	農機具製造業	組合員間格差が増大している。輸出向けは為替の影響があり、厳しい状態が続いている。
	遊技機製造業	ゴールデンウィークを狙っての販売攻勢が功を奏し、売上は増加した。ただし、夏場に向けての同様の取り組みの勝算については未知数となっている。
	木工機械製造業	組合員企業の景況に格差が生じている。好転している企業は繁忙度合いが著しい。
その他の製造	スポーツ用品製造業	スポーツシューズ市場ではウォーキング、トレーニング、コンフォート系が堅調に推移している。健康や美容への関心の高まりから、「歩き」への注目が高まっていることが、売上の増加につながっている。さらに震災以降、靴に歩き易さといった機能が求められ、ビジネスシーンにおいてもスポーツシューズメーカーの商品が注目されている。
	ガス圧接業	稼働率は上昇し、売上高も増加しているが、販売価格の上昇までには至っていない。それでも販売価格は安定しており、今後は価格の上昇を期待している。
	ネームプレート製造業	景況感はあまりにも悪い。

非 製 造 業

集計上の 分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	ニット製品卸売業	昨年の東日本大震災から1年が経過し、前年比で景況は大幅に回復した。しかし、ユーロ圏諸国の財政危機や中国等の新興国の景気後退等、不安材料も多く、今後を楽観することは出来ない。
	理容用品卸売業	理容業者の団体と連携して業界の活性化を図るための計画である「フライトコンパス21」構想を立ち上げ、事業を実施していく運びとなった。
	青果卸売業	仕入高は前年同月比117%となった。震災の影響があった昨年と比較して仕入れ高は増加している。
	眼鏡卸売業	震災以降、厳しい状況が続いている。今後、消費税の増税が避けられない情勢の中で、先々の見通しは不透明である。
	美容用品卸売業	組合が実施する共同購買について、組合員の期待が大きい。
	食品卸売業	学校給食に使用する食材の放射線量の基準が厳しくなり、一部の食材を使用することが出来なくなっている。
	医薬品卸売業	前月と比べ売上等は若干悪化した。
	紙卸売業	イベントや展示会の開催が少なく、売上に影響が出ている。
	玩具卸売業	昨年は震災発生後にイベントの自粛ムードが蔓延し、まつり等の開催中止が相次いだため縁日関係の売上が落ち込んだ。それでも玩具の需要自体は増加し、売上は堅調であった。しかしながら、今年度は一転して需要が低下し、売上は落ちこんだ。
	木材卸売業	国産材の在庫量が増加している。良質材の仕入価格が上昇しているが、需要不振のため価格転嫁が出来ない。
	電線卸売業	建設関連向けの電線販売量は依然として低調である。震災被災地向けのケーブル等にも変化は無い。
	再生資源卸売業	古紙の市況が下降している。新年度も明るい展望は開けない。
	銅製品卸売業	前年比の売上がマイナスとなっている組合員が増加している。
	小 売	木材小売業
鶏肉・鶏卵小売業		大震災の影響を受けた前年と比較して、仕入価格は下がり、売上高は上昇しているため景況は回復している。ただし、外食産業への売上は依然として不振である。
化粧品小売業		理事会や支部会において売上減少を伝える声が多い。
豆腐小売業		売上不振と経営者の高齢化から廃業者が増加している。今年、商工組合設立50周年を迎えるが、組合改革元年と捉えて活性化に取り組む予定である。
鮮魚小売業		魚価が高止まりしており、仕入に苦慮している。
包装材料小売業		組合員、賛助会員ともに組合の賦課金、賛助会費の請求を行った結果、組合脱退の申し出が増加している。
電器製品小売業		LED照明や太陽光発電設備の売上が上昇している。今後はエアコン等の夏物家電の売上を期待している。
眼鏡小売業		眼鏡以外の時計等については高額品に動きが出ているが、眼鏡については低価格化が定着しており、厳しい状況が続いている。
中古自動車小売業		エコカー補助金による好調な新車販売の影響から、中古車の流通台数も増加しているものの、景気回復の実感はさほど感じられない。また、補助金終了後の反動も危惧される。
衣料小売業		気温の上昇と共に夏物商品が売れ出した。久しぶりに前年比の売上額が増加した。
文具小売業		ゴールデンウィークのため営業日数が少なく、5月の売上は伸び悩んだ。
自転車小売業		昨年の4月は震災の特需が発生したが、5月は一転して需要が減少した。5月の需要は昨年5月と比べ落ち込んではいないが、一昨年と比べれば減少した組合員が多い。
食品小売業		この数ヶ月続いている売上と来客数の減少が、気がかりとなっている。また、価格競争も深刻となっている。
米穀小売業		米の市場価格が3月から5月の3ヶ月間の間に60kgあたり3,000円も値上がりした。外国産米も高騰するなど異常な状態が続いている。組合では安定した仕入方法について研究している。
青果小売業	ゴールデンウィークの長期休暇と天候不順による野菜価格の高騰等の影響により、売上は低迷した。また、仕入価格の高騰分を全て小売価格に転嫁することができない。	

商店街	銀座	ゴールデンウィーク後半は天候にも恵まれ、イベントも盛況であった。また、アジア系観光客も街の賑わいに一役買っていた。
	秋葉原	秋葉原の来街者は相変わらずゲームホビー関連のユーザーが中心。外国人来街者については中国人客が好調。また、タイからの買物客が増加している。ただし、スカイツリー開業の効果は現時点では見られない。
	目黒	前年と比べれば売上高は増加しているが、震災直後との比較であり、好転しているとは言い難い。
サービス	複写業	前年の震災後と比較して需要に若干の明るさが見え始めているが、先行きの不安感はぬぐいきれない。
	公衆浴場業	東京都に対する耐震化補助金の申請数が30組合員を超えた。また、クリーンエネルギー化補助金についても多くの組合員が申請している。
	クリーニング業	繁忙期は過ぎたものの、月末まで冬物衣料の扱いが続いた。震災の影響で売上が減少した昨年に比べ、売上は持ち直したと言えるが、一昔前の売上ピーク時にはほど遠い状況である。
運輸	貨物自動車運送業	今月の荷動きは減少傾向にあり、売上、資金繰り等の状況は悪化している。ただし、好調な得意先を抱える組合員は売上を伸ばしており、組合員間に格差が生じている。
	港湾運送業	平成23年度の組合員の実績は、売上高6.9%、経常利益10.3%、当期利益22.8%の増加となった。震災の影響により東北向けの貨物を東京港が引き受けたことが理由である。組合は前年比で若干の減益となったが、震災による組合施設の補修費が発生したためである。
建設	内装工事業	2月から3月は震災復興需要と年度末需要が重なり、職人が不足する状態であった。しかしながら、需要は減少傾向を見せ始めている。

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
繊維・同製品	帆布製品製造業	消費税の増税は景気が回復した後に実施していただきたい。
鉄鋼・金属	鍍金加工業	海外進出しているセットメーカーの部品の現地調達が増加している。また、国内においても廉価な韓国、中国製部品へのシフトが進んでいる。TPPへの加入等、産業施策に対する決断が遅すぎる。
	建築金物製造業	原発事故により工場の移転を余儀なくされた組合員がいる。脱原発を進めていただきたい。
木材・木製品	建具製造業	景気高揚のための具体的な施策を示していただきたい。
印刷	印刷業	前年のような電力の削減要請は無いが、今年は電力は不足しないとの事なのか。見通しをはっきりしていただきたい。
卸売	再生資源卸売業	資源物の行政回収における、抜き取り問題は深刻化している。国レベルでの対応を実施していただきたい。
	紙卸売業	形式的な環境対策から再生紙にこだわるあまり、対応できない中小の印刷、出版業界に大きな影響が現れている。行政は考えを改めていただきたい。
小売	青果小売業	我が国のTPP参加の影響に関する勉強会等を開催していただきたい。
	化粧品小売業	輸出を行う大企業には消費税の還付が行われている事実に対し、不公平であるとの意見がある。是正願いたい。
	豆腐小売業	景気浮揚策の実施をお願いしたいが、まずはデフレを克服していただきたい。
サービス	複写業	組合員の増員を図り、活性化に取り組む組合に対し、補助金を給付していただきたい。
商店街	銀座	街名標識の上に猫がのせられ、組合に苦情の電話が寄せられた。何とかならないものか。
	赤坂	飲食店の客引きへの対応に苦慮している。区に相談し、対処していただけるようお願いしている。
運輸	貨物自動車運送業	原油の国際価格の低下や円高が、国内の軽油価格の引き下げにつながっていない。燃料価格の値下げを実行する施策を講じていただきたい。